

2016年12月25日(日)

発行 日本平和委員会

1950.12.16.第3種郵便物認可

郵便振替 01240-1-1713

編集 岡山県平和委員会

〒700-0905 岡山市北区春日町4-26

TEL/FAX086-224-3787

Email heiwaoka@nifty.com

平和新聞

日本原基地調査

南スーダン部隊も演習に参加

11月27日、日本原基地調査行動が行われました。残念ながら、今年には自衛隊の集中整備の日と重なり、基地の中に入っただけの調査はできなかったのですが、勝田郡平和委員会の森藤氏の調査資料を元に、2015年度の日本原の自衛隊の動きを確認しました。参加者は5人でした。

日本原演習場は広さ約1900ヘクタール、奈義町の面積の約1/5(後背地を含めると1/4)を占めていて、中四国唯一の規模演習場です。今年も、南スーダンへの「駆け付け警護」宿営地の共同防衛」任務を受けて、新たな訓練も始まっています。

2015年度は、実数で、約3日に一日の割合で実弾演習が行われており、特に銃機関銃や迫撃砲の訓練が増加していました。特筆すべきは、PKO南スーダンにも参加している「中央即応集団」が初めて300人参加したことです。また、演習場の入り口すべてのゲートにカギがかけられました。これにより、部外者は一切入れなくなり、演習場の管理強化が非常に強まっています。

午後から、今回初めて奈義町役場の演習対策室所員の説明を受けました。中央即応集団が来てどんな訓練をして帰って

行ったかはわかりませんが、使用したのは小銃でした。また、役場の方も「来年度に日米共同訓練があるかどうかは知りたい」しかし「今のところ動きはなく、いつも直前にならないとわからない」とのことです。「戦争法を受けて、ますます戦争を準備する危険な演習場になりつつある」と参加者は危惧しています。

12.8統一行動 若い人が熱心に聴く



12月8日太平洋戦争開戦75年ということで県各地で街頭宣伝を行いました。

県平和委

県母親連絡会、日本ジャーナリスト会議岡山支部、平和・民主・革新をめざす岡山の会、県平和委員会の呼びかけで街頭宣伝をしました。

初!

全国理事会が岡山で開催!

オブザーバー参加しませんか

1月28日・29日

岡山市市民会館大会議室

参加無料

要 県の谷口まで事前連絡

成の「自衛隊員の命をまもれ!」のチラシを配り、自衛隊の南スーダンの駆け付け警護撤退の署名を行いました。参加は33人、署名は97筆でした。若い子や学生さんが署名をしてくれました。

水島平和委

水島平和委員会は母親連絡会と共催で倉敷駅北前において、街頭宣伝をしました。13人参加。用意した280枚をほぼまききりました。

師走で速足で歩く人が多い中でも、足を停めて説明を熱心に聴く人たちが多く、特に高校生が真面目に聞いてくれたのが特徴的でした。

美作平和委

美作平和委員会では、美作マルイ前にてスタンディングをして一時間宣伝しました。非会員を含む5人が参加しました。

12・15 沖縄宣伝

オスプレイ墜ちた、基地要らない



オスプレイが沖縄沖に「墜落」した一昨日の12月15日、恒例の「沖縄への米軍基地反対」街頭宣伝を会員中心に6人で行いました。

今回は、大西会長作成の高江の写真パネルも展示しながら、岡山駅前に行く人に署名も訴えていきましました。歩行者の関心は高く、立ち止まりパネルを見つめる人もいました。「オスプレイは危ない」「サンゴ礁を壊すのは許せない」などと、署名も9筆集まりました。

平和大会 感想No.2

今年の平和大会に参加した方々の報告書の中から、分科会の感想をピックアップして紹介します。

私は第2分科会「自衛隊を戦場に送るな！戦争法廃止・憲法守れの運動の交流」に参加、前日開会集會でお話をされた元自衛隊員と自衛隊員を息子に持つ母の話を前日より、より詳しく聞く事が出来た。元自衛隊員の話の中で、有事が起こった際の自衛隊の活動や捕虜に対する対応の仕方、人間の殺し方などとてもリアルな話が聞け、実際自衛隊の中でもそのような訓練が行われていることに驚いた。その後、「自衛隊を南スーダンに送るな」などのシユプレヒコールを上げながら三沢市内をパレードした。24日は岡山独自の学習企画で六ヶ所村をレンタカーで回り、六ヶ所核燃料サイクル施設の現状と課題を学んだ。六ヶ所原燃PRセンターでは実際にウランの原石が普通に置いてある事に驚いた。今回の出張は、私の人生において大変糧となる有意義な出張であった。

(中森 健一郎)

分科会「三沢基地って何やってるんですか？」戦前より基地と共にあり続けた為か、基地との共存ムードの高い三沢市のあり方に、少し驚かされました。まず、市民の意識を変えていかねば危険な基地はなくせないと思いました。三沢基地からシリアの空爆に向く部隊も存在し、それでは日本の平和を守るどころか、単なるアメリカの世界戦略の尖兵となっているといえる状況です。

また、青森県には原発も存在するため、テロの標的になった際の大きな危険性が地元をはじめとして日本全国に認識され、米軍基地撤廃・原発撤廃、そして日本と世界の平和に繋がるよう、行動をおこしていかなければならないと考えさせられました。

(藤澤 慧子)

「映画『ザ・思いやり』上映会とバクレー監督と語る分科会」に参加しました。

米軍の駐留経費を世界イチ(税金から)支出する日本政府。その内容の異常さに???と疑問を抱いたアメリカ人バクレーさん(神奈川県在住)によるドキュメンタリー映画で、とても楽しくみることができました。ぜひ多くの人に見てほしい映画です。第2弾も製作中だそうです。

監督への質疑応答や報告発言があったのですが、バクレーさん、とてもユーモアがあります。これは大事だと感じました。平和問題や基地問題って、どうしても「怒り」「悲痛」が前面にきてしましますが、「関心のもてない人へのアプローチ」としての「ユーモア」が大事だとバクレーさん自身おっしゃっていました。

(長久 啓太)